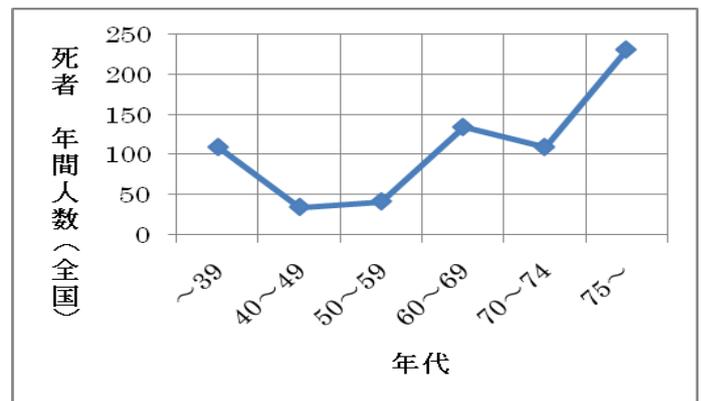
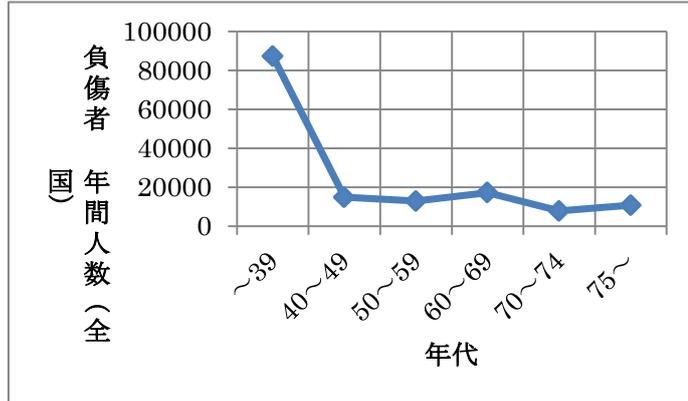


1. 事故の現状

- ◎交通事故全体の発生件数 → 減少
- 自転車事故の発生件数 → 減少
- 自転車事故の交通事故全体に占める割合 → 21%で減少しない
- ◎高齢者ほど事故を起こすと死に至るケースが多い



- ◎事故発生場所
 - 歩行者との事故 → 横断歩道
 - 自転車・クルマとの事故 → 交差点

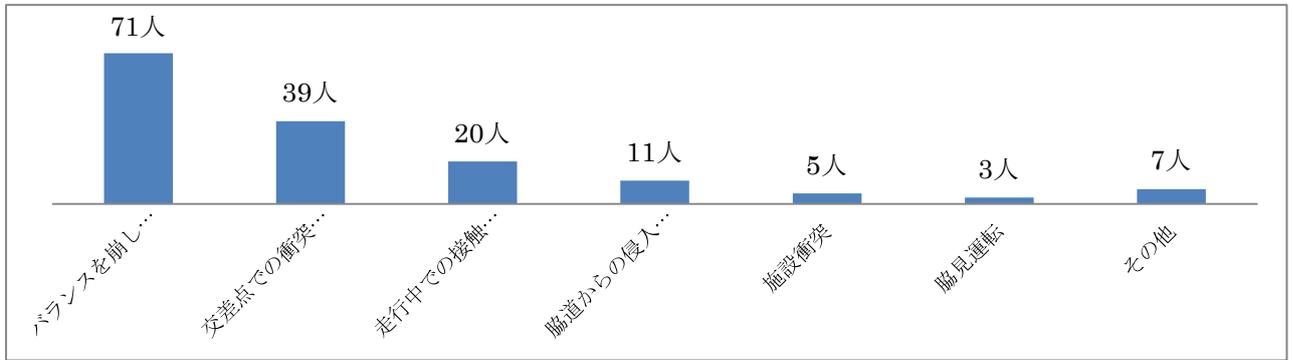
2. 事故の原因となる自転車利用者の意識

- ◎自転車を軽車両とは考えていない ⇒ 歩行者と同じ意識
 - 歩道上を自由に走行 → 歩行者との事故
 - 歩道のない道路を右側通行する → 自動車との事故
- ◎自転車を使うと速く目的地に到着できるから
 - 信号で停止したくない → 信号無視 右側通行
 - 一時停止しない → 出会い頭の事故

- ◎思い込み
 - クルマ・自転車が来なければ安全
 - 普段はクルマ・自転車が来ない所である
 - ↓
 - 一時停止しない 徐行しない
 - 周囲の安全確認をしない
 - ↓
 - 交差点で事故を起こす

3. 高齢者の事故原因

- ◎バランスを崩して転倒 46%
 - ハンドル操作を誤って転倒する事故が多い
- ◎交通ルール違反 45%



4. 弥生地区の特徴

◎幹線道路

- ☆クルマの通行量多い 歩道が広い
- ☆柳通りの歩道は狭い クルマの通行量は多くはない

◎生活道路

- ☆道幅が狭く、曲線部分が多い
- ☆交差点が極めて多く、その大半は見通しが悪い
- ☆交差点での信号・ミラーが少ない

◎商店街

- ☆道路への商品のはみ出しが多い
- ☆不法駐輪が多い

◎その他

- ☆坂が多い

5. 街中で見かけた交通ルール違反

- ◎二人乗り
- ◎右側通行
- ◎一時停止無視
- ◎信号無視

6. 幹線道路ではどこを通行するか

- ◎方南通り
 - ◎中野本郷通り
 - ◎本郷通り
- } クルマの通行量が多い 歩道が広い

歩道を通行するのが安全 → 歩行者が優先
 車道寄りを行く
 自転車とすれ違う時は左寄り

- ◎柳通り ⇒ 歩道に歩行者がいないとき いるとき →

7. こんな箇所ではどうすればよいか

◎坂道を下るとき

(起こり得る事故)

- スピードの出し過ぎ
- ブレーキのかけ過ぎによる転倒



(対応)

※左ブレーキを主として使う

※通行量が少ないとき・歩行者がいるときは中央寄りを通行

◎歩行者・駐車の多い商店街

(起こり得る事故)

→ 歩行者との接触

→ 自転車との接触



川島商店街

(対応)

※降りて押しながら進む

※徐行する

◎駐車中の自動車を追い越すとき

(起こり得る事故)

→ 駐車中の自動車と接触

→ 後方から来る自動車・バイク・自転車との接触

(対応)

※一時停止して前方・後方確認する

※後方から車両が来るときはその通過を待つ



葛飾区にて

◎出会い頭の事故が起こりやすい交差点

曲がりくねっている

直線道路

T字路が連続



南台2丁目37

五差路交差点



南台3丁目28

狭い道路でのT字路



南台4丁目8

坂道のある十字路



弥生町1丁目44



弥生町3丁目15



弥生町4丁目18

停止線のあるT字路



弥生町5丁目3

◎ 出会い頭での事故が起こる原因

一時停止しない

徐行しない

左右を確認しない

(対応)

※止まれの標識があるとき → 必ず止まって左右確認

※カーブミラーがあるとき → 確認しながら徐行

※止まれの標識・カーブミラーがないとき

→左ブレーキに手を掛けながら徐行、横断中左右を確認

(左に曲がる時)

必ず止まって左右を確認

→歩行者・右側通行の自転車と衝突の危険

(右に曲がる時)

徐行するか止まって後方と左を確認

大きくカーブしながら曲がる

→右側に寄ってから曲がらない



左写真

右側の自転車

徐行も左右の確認もしない

左の自転車

左を確認 → 徐行

↓

事故が防げた

南台4丁目11

◎ 右側通行は絶対にしない

(起こり得る事故)

→ 歩行者を追い越すときの接触

→ 対抗する自転車・自動車との接触



右折する前に右側通行することが多い

柳通り

8. 接触事故を防ぐ方法

◎目線を5～10m先に置く

◎交差点での注意

- ☆止まる
- ☆スピードを落とす
- ☆左右の確認
- ☆ベルを鳴らす

9. 転倒を防ぐ方法

◎自転車の大きさ

- ☆26インチよりは24インチを使う

◎こぎ出すとき

- ☆ハンドルを水平にしてしっかり持つ
- ☆ペダルを真上の少し前に置いてしっかりと踏み込む

◎荷物の積み方

- ☆前のカゴに載せる
- ☆前のカゴの重さを後ろのカゴの重さより重くして載せる
- ☆後ろのカゴに積み過ぎない

◎路面確認

- ☆マンホールのふた
- ☆点字ブロック
- ☆5～10m先を見ながら運転する

10. 自転車を楽しむ

◎いつも乗っている自転車で良い

- ☆散歩気分でゆっくりと
- ☆いつもとは違う道を走る
- ☆コース・目的地 決める・決めない
- ☆無理しない

◎レンタサイクルを利用する

- ☆神宮外苑サイクリングコース ⇒ 無料
- ☆パレスサイクリングコース ⇒ 無料
- ☆駒沢オリンピック公園 ⇒ 1時間200円
- ☆代々木公園 ⇒ 1時間200円
- ☆昭和記念公園 ⇒ 3時間400円

11. 事故になったとき

◎被害者になってしまったとき

- ①小さな事故・相手が逃げたときでも警察官を呼び、調書を書いてもらう
- ②相手がいるときは住所・氏名を確認
- ③病院で診断を受け診断書を書いてもらう

- ④自動車安全運転センターに連絡し、交通事故証明書を発行してもらう
- ⑤保険会社または代理店に連絡する
T S マーク → 購入した自転車屋さん
- ◎加害者になってしまったとき
 - ①負傷者の対応と安全確保
負傷を確認 状況によっては救急車を呼ぶ
 - ②小さな事故のときでも警察官を呼び、調書を書いてもらう（後になってのトラブル防止）
 - ③相手の住所・氏名を確認 自分の住所・氏名を伝える
 - ④自動車安全運転センターに連絡し、交通事故証明書を発行してもらう
 - ⑤保険会社または代理店に連絡する
T S マーク → 購入した自転車屋さん
被害者に対して誠意を尽くす

1 2 . 事故になってしまったときのための保険

- ◎ T S マーク (1 0 0 0 円代)
 - ☆ 傷害 1 0 万円 死亡 1 0 0 万円
 - ☆ 賠償 ~ 2 0 0 0 万円
 - ☆ 整備点検付き
- ◎ セブンイレブン 自転車向け保険 (4 7 6 0 円 他)
 - ☆ 傷害 ~ 4 0 0 万円 死亡 4 0 0 万円
 - ☆ 賠償 ~ 1 億円
- ◎ a u 損保の自転車保険 (1 0 7 0 円 他)
 - ☆ 傷害 なし 死亡 4 5 0 万円
 - ☆ 賠償 ~ 1 0 0 0 万円
- ◎ 全労済の交通災害共済 (1 0 5 0 円 他)
 - ☆ 傷害 ~ 1 0 0 万円 死亡 1 0 0 万円
 - ☆ 賠償 なし

自転車は 転倒しやすい 車両 である
 事故を防ぐためには 止まる勇気 が必要